

事務事業評価シート

(平成 24 年度実施事業)

| | | | | | |
|-------|--|------|---------|-------|------|
| 事務事業名 | 秘書事務事業 | | | 事業コード | 1487 |
| 所属コード | 122000 | 課等名 | 市長公室秘書課 | 係名 | |
| 課長名 | 村上 秀樹 | 担当者名 | 三浦 真 | 内線番号 | 2404 |
| 評価分類 | <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 | | | | |

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

| | | | | |
|------------|--|-----------------|--------|---|
| 総合計画 体系 | 施策の柱 | 信頼される質の高い行政 | コード | 8 |
| | 施策 | 計画的で効率的な行政運営の推進 | コード | 2 |
| | 基本事業 | 計画行政の推進 | コード | 1 |
| 予算費目名 | 一般会計 2 款 1 項 1 目 秘書事務 (002-01) | | | |
| 特記事項 | | | | |
| 事業期間 | <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 | 開始年度 | S20 年度 | |
| 根拠法令等 | | | | |

(2) 事務事業の概要

市長及び副市長の秘書事務を行う。

(3) この事務事業を開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

明治 22 年の市政施行以来、市長の秘書業務は行われていたものと推察されるが、現在の体制は昭和に入ってから秘書室設置による。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

交際費の用途について、より透明性の高い運用が求められている。

不当要求行為対策を含め、危機管理体制の強化が求められている。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

- ①市長及び副市長
- ②市民, 市政関連団体
- ③市内外の担当部課

(2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

| 指標項目 | 単位 | 22年度 実績 | 23年度 実績 | 24年度 計画 | 24年度 実績 | 26年度 見込み |
|-----------|----|------------|------------|------------|------------|-------------|
| A 市長, 副市長 | 人 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| B 盛岡市民 | 人 | 298,148 | 298,853 | 298,853 | 299,220 | 299,220 |
| C | | | | | | |

(3) 24年度に実施した主な活動・手順

- ①市長, 副市長の庶務的事務の遂行
- ②市民, 市政関連団体等との連絡調整等 (行事等出席, 面会予約等)
- ③担当部課との連絡調整 (市長副市長の指示によるもの, 行事の代理出席や祝辞の依頼等)
- ④市長交際費の支出状況の公開
- ⑤市長日程のホームページでの公開

(4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

| 指標項目 | 単位 | 22年度 実績 | 23年度 実績 | 24年度 計画 | 24年度 実績 | 26年度 目標値 |
|--------------------|----|------------|------------|------------|------------|-------------|
| A 会議・行事・催事等の調整した件数 | 件 | 5,428 | 5,192 | 5,192 | 4,880 | 4,880 |
| B 交際費支出状況の公開件数 | 件 | 358 | 303 | 327 | 344 | 344 |
| C | | | | | | |

(5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

- ①市長, 副市長の執務が円滑に行われる。
- ②市民及び市政関連団体と市長の間の意思疎通や, 庁内の連絡調整が迅速, 円滑になる。
- ③市民をはじめ市内外の盛岡市政への理解と信頼が高まる。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

| 指標項目 | 性格 | 単位 | 22年度実績 | 23年度実績 | 24年度計画 | 24年度実績 | 26年度目標値 |
|---------------------|--|----|--------|--------|--------|--------|---------|
| A 会議・行事・催事等の市長出席件数 | <input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持 | 件 | 2,655 | 2,741 | 2,741 | 2,562 | 2,562 |
| B 会議・行事・催事等の副市長出席件数 | <input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持 | 件 | 1,854 | 1,816 | 1,816 | 1,635 | 1,635 |
| C 市民等から寄せられる行政相談件数 | <input type="checkbox"/> 上げる <input checked="" type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持 | 件 | | | | | |

(7) 事業費

| 項目 | 財源内訳 | 単位 | 22年度実績 | 23年度実績 | 24年度計画 | 24年度実績 |
|-----|------------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 事業費 | ①国 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ②県 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ③地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ④一般財源 | 千円 | 9,282 | 8,394 | 9,848 | 8,237 |
| | ⑤その他() | 千円 | 110 | 0 | 50 | 110 |
| | A 小計 ①～⑤ | 千円 | 9,392 | 8,394 | 9,898 | 8,347 |
| 人件費 | ⑥延べ業務時間数 | 時間 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | B 職員人件費 ⑥×4,000円 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | トータルコスト A+B | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 備考 | | | | | | |

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

② 市の関与の妥当性

③ 対象の妥当性

④ 廃止・休止の影響

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

職員が秘書業務に精通することにより，成果の向上が見込める。

(3) 公平性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

(4) 効率性評価

事業費では，交際費の支出基準を見直すなどして，削減を進める余地がある。

人件費では，同規模自治体の中で最小限の人員で業務を行っているため，削減は難しい。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

①財政課所管の「議会事務局との連絡調整」と，当課所管の「答弁の検討調整」の効率化

②交際費基準の見直し

③市長，副市長の執務環境の整備（危機管理体制の強化を含む。）

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

①類似する業務を所管する関係課との協議，調整に時間を要することから，情報交換を積極的に行い，業務の効率化を進める。

②交際費支出基準執行運用について，他都市の状況も把握しながら，担当部課と意見交換するなどして，適切な運用に努める。

③事業継続計画で定めた内容を実行するにあたって，関係課との連携について事前の確認が必要である。

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

システムを活用した日程調整の円滑化やホームページを利用した交際費の積極的な情報公開など、業務の効率化が進んでいる。

今後は、庁内パソコンの高度化に合わせたシステム更新に取り組み、日程調整の更なる円滑化を図るとともに、危機管理体制の強化に向けて、二役の外出時や休日の際の連絡手段・移動手段について他課との調整を進める。